

◆フォーラムが人間の育ちと学びを追究して、6年になろうとしています。育ち、学びと言えば、教育、文化が骨肉の関係として頭に浮かびます。その教育や文化活動の取材・交流・研究を旺盛に実践してきたわけです。教育には文化が必須であり、育ちと学びも然りです。ですから文化の占める位置は非常に大きいものがあります。ということで、私なりに‘文化’という語について書きたいと思います。英語の **culture** は日本語で‘文化’と訳されています。語源はラテン語の **colere** (耕す)です。訳語の‘文化’は、明治時代に遡るようです。日本の近代化促進のため、明治政府は海外のあらゆる分野の文献を翻訳していますが、そのとき訳されたようです。そのとき活躍したのが、福沢諭吉、西周、中江兆民といった人たちだったのです。おそらく、**culture** の語源‘耕す’つまり人間の‘心を耕す’、‘心を豊かにしてくれる’という意味に近いのが、文治教化 (学問の力で感化し教え導く)あるいは文明開化だったのではないのでしょうか。以来、連綿と継承されてきた、様々な‘文化’なるものが、あるいは新たに創られた、多様な‘文化’が現存するわけです。そして文化と教育が相俟って我々人間は育ってきたので

す。文化は人間の存在する所につきまといりますが、自分たちの文化を大事に守り発展させる、あるいは創り出すという視点が必要だと思いません。今後文化あるいは文化の質について大いに語り合う中で、フォーラムの実践もさらに豊かなものになるでしょう。

◆ところで、昨年12月4日付けの朝日新聞をご覧になったでしょうか。そこには、アップに堪えている倉林さんがいるではありませんか。タイトルには、『「無料で学習支援誰にでも 元教諭・元医師ら活動20年以上 「ぐんま教育文化フォーラム」』とあります。

記事の中心は、30歳代のシングルマザーがフォーラムのことを知り、その援助で高卒認定試験の8科目合格の目標を達成し、現在看護学校の入試対策の勉強中というものです。倉林さんは、記者の伊藤繭莉さんに「年齢を問わず、個性に合った支援をしたい」と話しています。この記事がきっかけで、さらに新たな支援が始まっています。

◆昨年、フォーラム会計の実情を訴えて、カンパをお願いしましたところ、多くの方に応えていただき、おかげさまで赤字を解消することができました。ご協力ありがとうございました。

今後の日程

- ・ 2月 5日 (金) 13時～ スタジイ楽書会 (フォーラム)
- ・ 2月 6日 (土) 13時30分～ 子どもとメディア研究部会 (小学校の現場からの報告)
- ・ 2月 7日 (日) 10時～ 子どもの野外活動 (書初め)
- ・ 2月11日 (木) 10時～ ぐんま教育のつどい (群馬県青少年会館)
- 13時30分～ 群馬の歴史を考える会 (前橋市役所桂萱出張所)
- ・ 2月12日 (金) 14時～ スタジイ楽書会 (フォーラム)
- 18時～ わいわいフォーラム (前橋市本町 あかつき)
- ・ 3月26日 (土) 14時～ 近現代史ゼミ (前橋市総合福祉会館)

育ちと学び No. 27 ぐんま教育文化フォーラム

2016年1月29日 発行
〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F
[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803
[E-mail] g-kyoken@nifty.com
[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

